

おるかん

1910 時

ぼくが死んだ日

おいしいさんは二階の屋根で

古いおるかん 弾いてくれたんだ

ふいごのはたはす ほかの音楽は

ぼくの背中のビールスタチにも聞かえてる

ぼくが死んだ日

空はどんどん 落ちてきて

大気圏外 まるで映画館の中

スローくわせたぼくが見ているのは

地球のいざつは うそつきのアラネタリウム

屋根から突き出す巨大な菌類は

ぼくのかない ぼくえんの庭からそそいだよ

ぼくが死んだ日

おいしいさんは二階の屋根で

古いおるかん 弾いてくれたのに

風船病にヤシんちやったぼくの顔は

はんぱんだから うんしい顔がちゃんとこきない